

自由と平和。まっすぐ、つらぬく。

参院選ポスター発表



参院選ポスターを掲げて記者会見する志位和夫委員長 4月28日

「過去、現在、未来にわたるわが党の根本理念」

「自由と平和。まっすぐ、つらぬく。党をつくって100年」。日本共産党の志位和夫委員長は4月28日、夏の参院選に向けて党を押し出すポスターを発表。『「自由と平和」、これはわが党の過去、現在、未来にわたっての根本理念です」と強調しました。

「自由」について志位氏は、戦前の天皇絶対の暗黒政治のもとで、自由と民主主義を求めてたたかってきたこと、未来についても社会主義・共

産主義の日本に至るまで発展させ、花開かせると綱領で約束していると紹介しました。

志位氏は「平和」について、戦前、日本共産党以外の全ての党が侵略戦争を推進した一方、「わが党は、この時代から侵略戦争に命がけで反対を貫いた反戦・平和の歴史を持っています」と紹介。参院選では「自由と平和をつらぬいていく理念を掲げ、堂々とたたかって必ず躍進する決意です」と表明しました。

折り目



平和を守る力



9条 生かす政治を

いまウクライナ危機に乗じ“日本を守るには力が必要だ”と言って、「敵基地攻撃」「核共有」「憲法9条を捨てる」などの大合唱が起きています。しかし、いま日本が直面している最大の現実の危険は、日本が攻撃されていないのに、米国が軍事行動を始めたら安保法制を発動して自衛隊が米軍と一緒に「敵基地攻撃」で攻め込む、その結果、戦火が日本に及ぶことです。

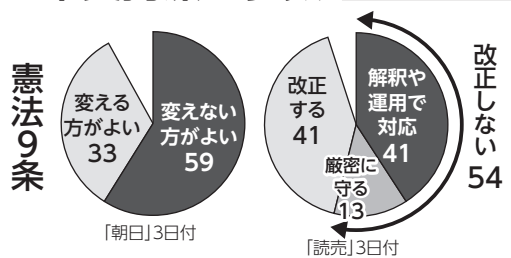
自民党などは「9条で平和が守れるか」と言いますが、戦争を起こさないため、9条を生かした外

交に知恵と力をつくすのが政治の役割です。

東南アジア諸国連合（ASEAN）の国々には、徹底した対話によって“紛争を戦争にしない”——平和の共同体をつくっています。日本がやるべきは「敵基地攻撃」など物騒な話でなく、ASEANと連携して東アジアを戦争の心配のない平和な地域にすることです。世界に誇る「9条を守り生かそう」の一点で力を合わせましょう。

日本共産党

9条支持派が多数 各紙世論調査



3日付の各紙が憲法に関する世論調査結果を報じました。ウクライナ危機のもとで憲法9条についての意識動向が注目されましたが、「朝日」「読売」とも非改正派が多数となりました。

制度解説

参院選挙
投票方法

比例代表は「**日本共産党**」と書きます
選挙区は「候補者の名前」で

参議院比例代表は政党名でも個人名でも投票できます

近畿民報

2022年5月 No.1 (第502号)
発行/日本共産党国会議員団
近畿ブロック事務所

〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10ホクシンビル102号
Tel.06(6975)9111 Fax.06(6975)9115
Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は以上の見解を発表しました。